

かんじやと医療

第
57
号

(毎月1日発行)

発行所

全国患者団体連絡協議会

東京都清瀬市松山2丁目13の12

〒180-04電話(0424)93-5871番

郵便振替東京2-4152

購読料 1部110円 6カ月分660円



7月1日に開院した都立神経病院(記事6面)

写真募集

秋の自然や生活
運動、文芸、文化等

おもな記事

運動の交流広場 2・3面

健保・年金・公費・老人

国会・厚生省へ 4面

都立神経病院が開院 6面

全患連幹事会開く 7面

新潟市に三百余名の会員が結集

福祉切り捨てにくじけず

互療会が第12回全国総会

互療会(人工肛門・人工膀胱 係者(学会の医師、婦長、看護の会)の第十二回全国総会が、婦、器具メーカー)など三百余名六月八日、新潟市の東映ホテル 名の参加で盛況裡に開かれまして全国の支部長、会員、医療関係者。



新潟市で開かれた互療会第十二回総会

互療会の全国総会には毎年東京で開かれてきましたが、数年前の総会で支部長などの要望もあり、隔年に各支部まわり持ちで開かれることになって神戸市、仙台市について新潟で開かれることになったものです。

こうして地方開催のねらいは地方の会員との親睦をはかれること、地元紙のアピールでこうした会も知らず一人で悩み、家に閉じこもっている人たちに光明を与えることができること、加えて横の連絡が密になったことも見逃せない事実です。

互療会総会の様子を知っています

運動の 交流広場

たまたため、地元支部・互療会雪樺友の会会長で新潟大学教授の武藤輝一先生と、互療会・前田幸男会長の挨拶の要を介して

武藤先生は、「今日、病気の根治をめざして積極的に手術が

実施される一方、オストメイトの方が増加しつつあるのは世界的傾向でもあります。ストーマの処置そのものが大変悩ましいものでありましたが、現在では互療会ならびに関連の会の皆様方のご努力によって快適な日常生活を送り、積極的に仕事をすることができるようになりました。

しかし、ようやく福祉問題としてオストメイトの悩みが理

解されつつあるものの、当局の理解は必ずしも十分とはいえず。本日の全国大会を機縁に皆様の意見交換が十分に行われますと共に皆様の声により強く当局に認識されることを期待する次第であります」と歓迎の挨拶をしました。

また前田会長は、大会開催の準備にあたった地元雪樺友の会に謝意を表し、全国から参加した会員、関係者の労をねぎらうとともに次のように挨拶しました。

「互療会も昨年は十周年というひとつの区切りをつけて、本年度は第二期に入り、八〇年代の初頭に入ったわけですが、私たちは決してこれにくじけることな、あくまでも初志を貫徹していく所存でありますので、皆さんも自信をもって私たちに力を貸してください。そしてお互いに一人でも多くの人が物心ともに幸せになりますよう頑張りましょう」

病 心臓 守る

深刻な看護婦不足

国立小児病院問題で厚生省交渉

全国心臓病の子供を守る会は六月十二日、厚生省医務局国立病院課に対して、国立小児病院

の看護婦増員と施設、設備の拡充について申し入れを行います。この日の交渉に参加した

は四名のお母さんたち。国立小児病院で受診している子供を連

運動の 交流広場

た。

国立小児病院では現在、五百人を越える心臓病の子供たちが手術の順番を待っています。心臓の手術をする病院は、全国に百か所以上ありますが、乳児や重症児に対応できる病院は少なく、大学病院に集中して、国立小児病院では数えるほどしかありません。

そこで全国から重い心臓病児が国立小児病院へ集まってきており、同病院の心臓部門の拡充が強い要求となつています。ところがこの願いと反対に昨年未頃からは、新病棟移転にともなう看護婦増員要求が実現しないことから、二百七十床のうち八十床も使われておらず、心臓手術の数も減少しているという状態に陥っています。

守る会が病院の医師、看護婦から話を聞き、会員の中の同病

院の患者に対する調査を行な

った結果、①手術の予定が立たないため不安になつてくる患者が多い②急いで手術を要する患者は他の病院へ回されている。そのため差額ベッド代などの出費がかさむ(十万円～五十万円)。心理的にも不安を感じている③中には手遅れになったり、手術を早くしていればかからなくても済んだと思われるような合併症をおこしている子供もいる。

そのため全く廃人同様になつてしまった子供や、手足にマヒが残ってしまった子供もいる④人工呼吸器、モニターリング、超音波、CTスキャンなど、当然必要な器械がなかつたり不足したりしている。そのため医師も困り、患者も他の病院へ検査に行かなければならないなど不都合が多い一など驚くべき状況が明らかにされました。

そこでこの日の申し入れとなつたのですが、応対に当たった国立病院の係官は、「皆さんの要望はよく分かります。厚生省も努力しているのですが、何しろ国家公務員の総定員法ではられてるものですから…」(この承知のように国にはお金がありませんので…)「国立病院が扱っているのは心臓病ばかりでは

ありませんので…」と繰り返すばかり。「定員法というのは、ずっと前から問題になつてたはず、今まで何をやってたんか」「心臓病のように人手も

公費・健保改悪に反対決議

特別運動で二百円募金

日患同盟第七十三回定期大会



かり高度な技術や設備を必要とするような病気で、国がしっかり受けとめてくれなくてどうするんですか」なごのお母さん

「死んでしまった子供や植物人間になつてしまった子供たちをどうしてくれるんですか」「心臓病のように人手も

た。私たちの追及に、最終的には「一杯の努力をします」と約束しました。

日本患者同盟第七十三回定期大会が、去る五月二十五日から三日間、大阪府谷町福祉センターで開かれ、遠くは北海道から沖縄までの代議員をはじめ、三百名が参加しました。

大会は、小島副会長の開会の挨拶があつたあと、議長団を選出し、書記任命後、長(おさ)会長が、「福祉より防衛力増強を優先しようとする動きに反対し、社会保障を進ませよう」と、大会の成功を強く訴えました。

つづいて柏大府患委員長の後、山本洋二共闘部長の辞任を承認し、長年の労に参加者が拍手を送りました。大会はこのあと、大会宣言を行ない、成功のうちに終わりました。

つぎに一般活動報告を古川事務局長が、全患連報告を山本共闘部長(全患連事務局長)が行なったあと、三柏團事件元被告

の久保昇、山本幸男両氏がお全参加者が感謝しました。

礼の挨拶を述べ、十三年余の闘いで勝利を勝ちとつた両氏に対して、参加者から絶大な拍手が送られました。

佐々木組織部長が健保・公費医療改悪反対、運動募金(一人二百円)について、野口常任幹事が規約・規程改正について提案をし、これを承認しました。

つづいて①健保・公費医療の改悪反対②失明病院の民主的運営と自治会支援の特別決議を行ない、会長ら新役員を選出した。

山本洋二共闘部長の辞任を承認し、長年の労に参加者が拍手を送りました。大会はこのあと、大会宣言を行ない、成功のうちに終わりました。

つぎに一般活動報告を古川事務局長が、全患連報告を山本共闘部長(全患連事務局長)が行なったあと、三柏團事件元被告

の久保昇、山本幸男両氏がお全参加者が感謝しました。

礼の挨拶を述べ、十三年余の闘いで勝利を勝ちとつた両氏に対して、参加者から絶大な拍手が送られました。

佐々木組織部長が健保・公費医療改悪反対、運動募金(一人二百円)について、野口常任幹事が規約・規程改正について提案をし、これを承認しました。

つづいて①健保・公費医療の改悪反対②失明病院の民主的運営と自治会支援の特別決議を行ない、会長ら新役員を選出した。

山本洋二共闘部長の辞任を承認し、長年の労に参加者が拍手を送りました。大会はこのあと、大会宣言を行ない、成功のうちに終わりました。

つぎに一般活動報告を古川事務局長が、全患連報告を山本共闘部長(全患連事務局長)が行なったあと、三柏團事件元被告

の久保昇、山本幸男両氏がお全参加者が感謝しました。

大阪で開かれた第七十三回日患同盟定期大会

健保・年金・公費・老人医療…

いざ夏の陣 国会 厚生省へ

衆・参両院議員選挙もおお、政局は自派指名、特別国会に焦点が移っています。この特別国会をつづいて開かれる臨時国会に重要法案の提出が山積していき、いわれています。とりわけ健保法、年金法、郵便法一部改正案が、国会に提出されるか

医療中断まねく

焦点となることは必至です。厚生省は、国会解散後の五月二十一日に開かれた社会保険審議会

健保改悪阻止へ

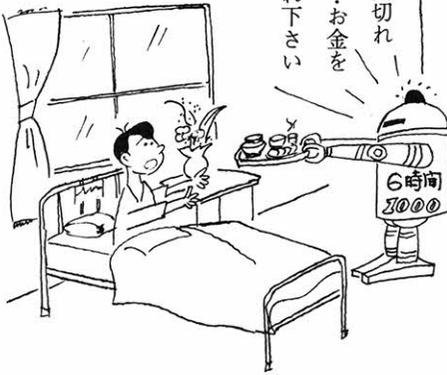
さきの国会、廃案となった四に「国会での四党合意による健

患者、障害者は重大な関心をよせています。これらに関連して厚生省があげていると、いわれる老人医療費問題や、さらに結核など公費医療制度のあり方も検討するところが明らかにされており、これらの動向が注目されています。

た年金受給者は、さきの国会で同法案が廃案にされ期待を裏切られてしまいました。同法は当初、雇用の実状を無視した厚生年金老齢年金の支給開始年齢六十歳を六十五歳に引きのばすというひどい内容でした。しかし、こうした改正案は野党、とくに労働者(被保険者)の同意がえられるものでなく、原案に落ちつきました。また同法には、障害年金など年金額の引き上げも含まれていました。その実施時期は厚生年金が六月八月とされていましたが、これが廃案となったため、実施の目途がたっていません。



時間切れ
です…お金を
お入れ下さい



「看護婦不足」 阿部昌太郎 (福島)

たこといわれています。選挙後の状況は、自民党が衆・参とも多数を占めたことを「絶好の機会」ととらえながらも、表面は慎重にしつつ水面下では各党、各団体の動向をにらみながら着々と正面突破の機会をねらっています。

保険料の内では、実施の条件に保険料の引き上げが含まれている以上、年金法の改正なく実施を当初案どおりに行うわけにいかないという見解を示しています。厚生省が案を発表する前に、各団体が憲法二十五条と戦後の運動によって築いてきた権利を基本に、確信をもって要求を前面にお出しして行動することがぞ望まれています。

訂正

本誌前号五ページの育成医療など「費用徴収基準額改定」の記事中、七行目の「D16まで二十二区分に分けられ…」は、「D15まで十九区分に分けられ…」の誤りでしたので訂正します。

年金改正法案の

早期成立のぞむ

一月二十三日からひらかれた全国民生主管部局長会議で石野保険局長は「医療費の伸びに対して保険料や国家財政が対応でき

ないことは問題であり、法案を突破口として制度改正を進めねばならない」(健保連「健康保

病気が治せる本人、家族の十割意ができていたものを、自民党が健保改正案の先議を主張したことにより廃案になったといわれています。

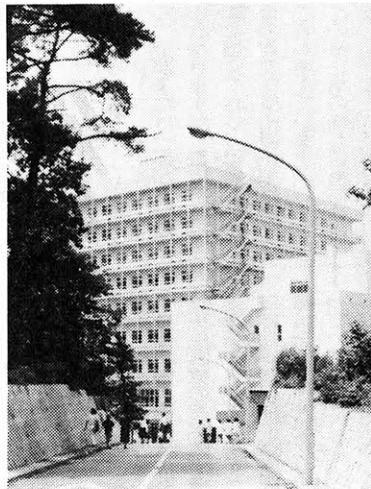
健保改正と性格の異なる年金法の改正案を、早期に成立させることは物価高のなかで緊急課題といえます。

都立神経病院が開院

重症筋無力症などの専門病院

七月一日、東京・府中市武蔵 躍に大きな期待が寄せられている。同病院は医師、看護婦など

のスタッフ百八十七名(将来は四百名以上を予定)が、リニアと麻酔科も間もなく診療が始まる予定です。原則として外来患者は扱わず、府中病院の外来患者のうち入院を必要とする患者を収容して治療にあたります。同病院の院長には、スモンヤの新潟水俣病の研究で知られている



完成した都立神経病院

る榎忠雄新潟大学教授(59)が原因究明や治療法の確立にむけて全力を尽くしたい」と、意欲を燃やしています。東灘連では開院前の六月十二日に同病院の見学会を行いました。



本流

を財政面から保障する性格をもっており、それだけに予算編成には重大な関心をもつことが主権者である患者・国民にのぞまれています。

予算編成に関心を

患者や障害者の生活と国政に大きな影響を与える、五十六年度予算各省庁概算づくりが行われています。これは財政法にもつき、各省庁が八月末までに大蔵省に概算要求することが義務づけられているためです。

国の予算案は、政府の施策

連日打合せや会計課長説明に

こうみてくる。国の予算編

て行っかにかかっています。

成はますます重要となり、と

それでは予算づくりの基準をどこに置いているのでしようか。①前年度対比で伸率をゼロとする②新規施策は原則として認めない、要求するところの、

「防衛費のGNP一

パーセント、福祉切り下げ、健保改善など」のむりやり実施はせざるを得ないという

きほ既定経費の削減③大蔵省との覚書(老人医療費、児童手当制度の扱い)に対する姿勢が基本となる、と担当者は説明しています。

さき(一)国立療養所T病院の患者会が、医療内容と療養環境についてアンケート調査を行いました。

調査項目は「あなたは当病院に入院して良かったかどうか」など十数項目となっています。

調査の結果は「当病院に入院してよかった」が圧倒的多数を占めました。

その理由の第一位は医療、看護がよい、第二位は給食がよい、第三位は医師が親切、第四位は看護婦が親切、第五位はケースワーカーが親切となっています。

患者は当病院の医療内容に満足しているでしょう。調査回答に付された意見に注目してみましょう。

医療内容では、①医師の回診回数をふやして下さい、②医師は患者との面接時間をとって、病状を説明して

国療自治会がアンケート よい医療とは

病院えらぶ指標しめす

患者にとって、よい医療環境がこれに、よい医療内容は、生命にかかわることを、生命というかけがえのないものを一定期間、

医師、医療機関に託することになるからです。

T病院患者自治会の調査結果は、よい医療機関を選ぶ指標を示してくれている

よです。よい病院とは、このよう調査もみとめるべ

らしいの度量も備えていては

しいものです。

連会 患事 全幹

学習交流集会の開催をきめる

健保・公費を重視

国際障害者年日本推進協加盟へ

全患連は六月十三日、第二十八回幹事会を東京都障害者福祉会館で開きました。幹事会には長(おさ)、鈴木両代表委員ら十名が出席し、①全患連展覧委員会の報告②健保・公費医療制

度改悪に反対する運動③昭和五十六年度政府予算に関する要求提出④「患者白書」の実態調査結果⑤国際障害者年の取り組み⑥山本事務局長辞任と後任問題などについて討議しました。

幹事会では、はじめに第一議 視して全患連として重点要求と題として、第五回全患連大会各団体の要求をまとめて、七月十五日に労働者、厚生省交渉を患連展覧委員会」のまごめの報告②そのあと引き続いて、健康保険法、公費医療制度をめぐ

をきき、今後の扱いについては後日あらためて「患者白書」作成委員会」をひらいて、その加盟問題について討議しました。この日本推進協議会は太宰博邦氏(全国心身障害児福祉財

たのち承認されました。第二議題である「健保、公費」の重要な時期に百名規模の運動のすすめ方」については山本事務局長から情勢の報告と提案があり、討議が行われまし

た。つづいて、前財政部長であった官里さん(全患協)から、全患連にたいして二万円の寄付が進団体として四月十九日に発足したもので、全患連としても国際障害者年を重視しその加盟を決めました。

討議では、とくに四党合意による修正案が国会解散によって廃案となったが、選挙後のような扱いとなるのか、公費医療制度の扱いがどうなるのかなどについて活発な意見がだされまし

た。第三議題の「政府の来年度予算案に対する要求の提出について」は、討議した結果、七月十五日に厚生省、労働省交渉を行うことになりました。第四議題は「患者白書」の実態調査結果と今後の扱いについてでしたが、山本事務局長から実態調査集計状況の報告



山本事務局長が辞任

日患同盟が事務局引き継ぐ

最後に、全患連の結成と、創立以来事務局長として重責を果してきた山本洋二氏(写真)の辞任を承認し、永年の労に全員で拍手を送りました。

なお、全患連事務局をひきつづき日患同盟が担当し、事務局実務は日患同盟の古川圭助氏が担当することを確認しました。

医療ニュース

5月・6月

- 【五月】
- ▲10日 全国公私病院連盟は、病院医療費問題研究会を発足させた。委員は地主重美千葉大教授、福田勝総評生活局長ら六人
- ▲13日 公正取引委員会は千葉市、豊橋市の医師会が「適正配置指導委員会」を
- ▲21日 厚生省が歯科医師国家試験の合格者を発表した。合格者は二千七百九十一人(合格率九六・〇%)
- ▲23日 厚生省は閣議で老人福祉法施行令の一部改正を諮り、了承を得たところから、七月一日より老人医療費の本人所得制限基準の引き上げを行う
- ▲26日 社会保障制度審議会開かれる。老人医療費の実態から検討はじめる
- ▲27日 厚生省、昭和五十三年度の「国民医療費」を発表。総額で十兆円の大台
- 【六月】
- ▲3日 公私立病院連盟は第二十一回定期総会を開き、診療報酬改定要求と増床の規制は、独禁法違反と排除勧告
- ▲15日 厚生省が「高齢化社会」をテーマに世論調査を行う。対象一万八千人
- ▲17日 厚生省は今年四月に東京、札幌などで行った第六十九回医師国家試験の
- ▲4日 日医は厚生省の健保組合新設認可に抗議した
- ▲6日 日本病院学会は、富山市で「現代医療の実像と未来への指向」をテーマに第六十回同学会を開催した



障害年金の現況届け

医師に頼みにくい複雑な診断書

(問) 毎年、国民年金の現況届けを書くとき、手引き書があれば、それを参考に憂うつになりまよいのにと痛感します。厚生省は病院や医師にこんな指導、助言をしてくれているのでしょうか。(埼玉・A子)

(答) 年金受給者の共通の悩みは「年金受給者の権利保護と、医師の協力を得やすいように、どのような配慮をしているのか」と、受給者泣かせのことです。年金受給者の権利保護と、医師の協力を得やすいように、どのような配慮をしているのかと、国民年金課はつぎの目的とする「国民年金の精神からみると、まだまだ受給権者本位とはいえません。」

「障害年金改正をすすめる会」でも、社会保障庁に対して改善を申し入れてきました。ところが昨年十月からは診断書の様式を変え、さらには新しい測定値を導入するなか、かえって複雑な講習会を開いていることで、もつと簡潔な内容を作成し、全国の病院などに配布していることです。主な内容は①国民年金のあらまし②診断と書き方、障害の程度などが含まれています。しかしこれらの措置も、「健全な国民生活の維持及び向上に寄与することを目的とする」国民年金の精神からみると、まだまだ受給権者本位とはいえません。」

全国患者団体連絡協議会加盟組織

(互療会)

〒105 港区西新橋3-15-10原色版印刷内

☎03 (433) 1641

(全国交通労働災害対策協議会)

〒171 豊島区西池袋1-4-5

☎03 (982) 7361

(全国腎臓病患者連絡協議会)

〒161 新宿区下落合3-15-29 田沼ビル(第二)

☎03 (952) 5340

(全国心臓病の子供を守る会)

〒101 千代田区神田北乗物町17 北乗ビル

☎03 (256) 8424

(全国ハンセン氏病患者協議会)

〒189 東村山市青葉町4-1-10

☎0423 (94) 1571

(全国職業性有害物障害患者協議会)

〒105 港区新橋6-15-4

☎03 (433) 2082

(日本患者同盟)

〒180-04 清瀬市松山2-13-12

☎0424 (91) 0058

(慢性一酸化炭素中毒患者会)

〒151 渋谷区千駄ヶ谷1-31-5代々木病院内

☎0493 (24) 1293 後藤宛

患者・障害者の年金12章

渡辺 清著 B6判 400頁 1,500円 160
 障害年金を中心に老令、遺族年金などと労災保険などの調整について、くわしく解説。
 年金問題で必読の書。 鳩の森書房

ご注文は本誌編集委員会までおねがい
 します。

誌代の請求について

誌代の納入については、をお送りします。その切は本誌上でも度々読者の皆さんにお願いしておりますが、お願ひ致します。なお、納まだ納入いただいていない入後に請求書が届いた場合、読者、団体も少なくありません。現在、購読者台帳を整理中ですので、未納の読者の方には近日中に請求書 便振替をご利用ください。東京二一四一五二全忠連